



UoA News ⑭

※学生の学年等は受賞時のものです。

ARC-Spaceが「ロボット航空宇宙フェスタふくしま2020」に出展しました



2020年11月27日～28日の2日間、ARC-Space(会津大学宇宙情報科学研究センター)は、郡山市のビッグパレットふくしまで開催された「ロボット航空宇宙フェスタふくしま2020」に研究の成果を出展しました。

展示会には2日間で3000人の方が来場され、ARC-Spaceの展示ブースでは、はやぶさ2がタッチダウンした小惑星「リュウグウ」の立体模型やパネルの展示、着陸地点を決定する際に使われた「三次元地理情報システムAiGIS」のデモンストレーションを行い、多くの来場者が「リュウグウ」を様々な方向から眺めたり、立体地図で重力の違いなどを学んでいました。

吉野大志特別研究支援者の第21回 SI2020における発表が最優秀賞を受賞しました



先端情報科学研究センター(CAIST)ロボット情報工学クラスター(ARC-Robot)の吉野大志特別研究支援者が、2020年12月16日～18日にかけてオンラインにて開催された第21回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会のRTミドルウェアコンテスト2020で行った発表で、最優秀賞と4つの奨励賞を受賞しました。

講演名:「OpenRTM-aist用MQTT通信モジュール群とMosquitto MQTT brokerの組み合わせによるIoTシステムの構築方法」
共著者:渡部 有隆、矢口 勇一、中村 啓太、成瀬 継太郎

出村教授が「はやぶさ2」の成果報告のため、福島県知事を表敬訪問しました



2020年12月22日、本学宇宙情報科学研究センター長の出村裕英教授は、「はやぶさ2」の技術開発や製造に関わった県内企業の皆様とともに内堀福島県知事を表敬訪問しました。

出村教授は「はやぶさ2」の「リュウグウ」へのタッチダウン場所や人工クレータ形成場所の選定にあたり、画像解析などの分野で本学教員や学生が幅広く貢献していることを報告しました。

内堀知事は、ミッション成功の裏にある苦労や失敗にもあきらめずに力を合わせて頑張り続ける姿に勇気づけられ、これからの福島の復興や感染症の問題など、困難な課題に立ち向かうエネルギーをもらったという感謝の思いを述べられました。

「野生動物検出システム」がITmedia Newsに掲載されました



2020年12月23日、本学コンピュータ構築学講座の齋藤寛上級准教授のグループが実証事業を進めている「野生動物検出システム」が「ITmedia News」(IT系ニュースサイト)に掲載されました。

この記事は、2020年11月26日の記事に続くものです。

地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)に選ばれました

2020年12月24日、本学「産学イノベーションセンター(UBIC)・復興支援センター(ARC)」が経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」に選ばれました。

この地域連携型拠点は、地域の課題解決や地域経済の振興等を目指し、地域の企業や地方公共団体との産学連携活動を積極的に行っている拠点が選ばれます。拠点に選ばれると、国内外へのPRや拠点間のネットワーク強化支援、経済産業省予算事業との連携強化、規制緩和等政府施策への接続支援など、経済産業省によるオーダーメイド型の伴走支援を受けることができます。

矢口勇一准教授の第21回SI2020における発表が優秀講演賞を受賞しました



2020年12月16日～18日にかけてオンラインにて開催された第21回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2020)で矢口勇一准教授が行った発表が、優秀講演賞を受賞しました。

講演名:「複数台UAVを用いたメソスケール気象観測8台を1200mまで同時にフライトさせる経路計画」
共著者:東日本計算センター株式会社 松本美勝 様 東日本計算センター株式会社 中野修三 様
株式会社eロボティクス 山岸和彦 様 株式会社eロボティクス 板羽昌之 様

講演名:「無人航空機システムのためのセキュリティ解析に関する考察DO-326はそのまま適用可能なのか?」

会津産学懇話会様から新入生生活支援のために寄付金をいただきました



2021年1月27日「会津産学懇話会令和3年度会員総会」に引き続き、宮崎敏明学長がコロナ禍における厳しい会津大学生の状況について特別講演を行い、学生の生活の窮状を訴えました。

これに対し、会長の大内重行様から学長に、間もなく入学する新入生の生活支援として寄付金が贈呈されました。

「第6回会津大学ロボットシンポジウム」を開催しました



2021年3月17日、会津大学復興支援センターと先端情報科学研究センターロボット情報工学クラスター(ARC-Robot)は、第6回会津大学ロボットシンポジウムをオンラインで開催すると同時に、「RTC-Library-FUKUSHIMA」のウェブサイトにて2020年度の研究成果を発表しました。

小惑星探査機「はやぶさ2」の観測成果に関する論文が英国科学誌Nature Astronomyに掲載しました

日本時間2021年1月5日、小惑星探査機「はやぶさ2」が直接観測した小惑星リュウグウの地下物質に関する研究成果の論文が、イギリスのメジャーなオンラインジャーナルNature Astronomyに掲載されました。

<Paper title> Thermally altered subsurface material of asteroid (162173) Ryugu (小惑星リュウグウの熱変成した地下物質)

主著者 北里 宏平(准教授) 共著者 大竹 真紀子(教授) 平田 成(上級准教授) 本田 親寿(准教授) 山田 竜平(准教授) (会津大学教員のみ抜粋)

2020年度春季博士論文発表会が行われました

2021年2月3日、2020年度春季博士学位論文発表会が行われ、大学院コンピュータ理工学研究科博士課程で学んだ5名が、学位取得を目指して取り組んだ研究の成果論文を発表し、発表後は質疑応答が行われました。

ヴァージェニナ ダリヤ 「音声認識における高度なモデル学習方法の研究」

ヘラト ムディアンセラグ イスル ニハタマーナ ジャイヤラトナ 「脳波解析による認証と立体音響の探索」

楊 青林 「効率的なディープラーニングサービスを実現するエッジコンピューティングのためのリソース割り当ての最適化」

スレスタ ササンカ 「ポリストアデータ管理システムによるオープンデータ統合」

カウストフ ヴィクトル 「協調型マルチエージェントゲームにおける機械学習ベースのチームAI」



出村教授のインタビュー動画が復興庁の「福島の今」ウェブサイトの「FUKUSHIMA INDEX」に公開されました



出村教授はインタビューで会津大学教員・学生と「はやぶさ2」との関わりや、ふくしまのこれからの10年にかける思いなどを語っていました。

なお、動画は復興庁のYouTubeチャンネル「FUKUSHIMA INDEX」でご覧いただけます。

サービス開発エンジニア体験「腕試しハッカソン」を開催しました



会津大学では、TIS株式会社(以下「TIS」と)との共催により、2021年2月15日から16日にかけて「腕試しハッカソン」を開催しました。「腕試しハッカソン」は、会津大学生の実践的なスキル習得を目的に2020年10月からTISとの共催で開催してきた勉強会(全4回)のまとめとして、「地域課題を解決するアプリ開発」をテーマに開催しました。

会津大学生と県内企業の交流イベント「会津逆求人フェスティバル」を開催しました



2021年2月26日に「会津逆求人フェスティバル」をオンラインで開催しました。このイベントは、通常の合同企業説明会とは逆に、学生のブースを企業の採用担当者等が巡り、1対1で面談を行う形で進行します。

会津大学生と県内企業の交流の機会を提供し、県内定着の促進を目的に実施しており、今回で5回目の開催となります。

各種環境センサーを活用したIoT技術の勉強会「IoTハンズオン」を開催しました



2021年3月8日と9日の2日間、「IoTハンズオン」を開催しました。

このイベントでは、株式会社エヌ・エス・シーの技術者が講師となり、各種センサーとラズベリーパイ(教育目的に作られたシングルボードコンピュータ)を接続し、簡単なシステムを製作しました。

「令和2年度 起業家甲子園」で会津大学生が審査委員特別賞を受賞しました



2021年3月1日に開催された「起業家甲子園」において、チーム「会津大学」は、いつでもどこでも自由に服のデザインを切り替えてオシャレを楽しむ「エレクロ」のビジネスプランで、「審査委員特別賞」を受賞しました。

【チームメンバー】

谷川 直弥さん(学部1年)、柿崎 愛斗さん(学部1年)、助川 拓哉さん(学部3年)、橋本 志徳実さん(学部3年)、吉田 健太さん(学部1年)、富山 雄太さん(学部3年)、一丸 悠哉さん(上智大学外国語学部1年)

【プランの概要】

ファストファッションの出現により手軽に多様なお洒落を楽しめるようになった反面、トレンドについていくための経済的負担やトレンドから外れた服の大量廃棄による環境負荷が課題となっています。このような課題に対して、時間や場所に縛られずに被服のデザインを切り替えられるデバイス「エレクロ」により1着で全てのファッションを楽しむことを提案します。

本学大学院修士2年生の小林達郎さんが「ふくしま復興を考える県民シンポジウム」で講演を行いました

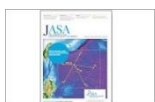


小林さんは2021年3月14日、福島市で行われた「ふくしま復興を考える県民シンポジウム」の講演で、はやぶさ2プロジェクトにおける自分の研究や会津大学、福島県の関わりや、学生生活を通して感じた復興への思いを述べました。

<小林さんのコメント>

震災から10年が経ちましたが、ここは通過点であり今後もふくしまの復興に繋がるようにできることを一つ一つ実現できることを積み重ねていくことが大切だと思います。

会津大学の研究者の論文が米国音響学会(ASA)の学会誌に掲載されました



ASAは2021年3月17日に学会誌をオンラインで発表し、この学会誌に会津大学のヴィージェガス ジュリアン准教授が中心となって行った研究が掲載されました。

この論文はロンバード効果(騒音下で現れる発話時の声質や口調の変化)における状況と母語の影響について報告したものです。

Journal名: Journal of the Acoustical Society of America (JASA)

題名: Effects of task and language nativeness on the Lombard effect and on its onset and offset timing

著者: ヴィージェガス ジュリアン(コンピュータ芸術学講座) パーキンズ ジェレミー、ウイルソン イアン(語学研究センター)

「女性ICT人材育成事業の実施を通じた女性活躍応援の取り組み」が工学教育賞を受賞決定



2021年3月18日、会津大学復興支援センターで2017年から行っている女性IT人材育成の取組が高く評価され、公益社団法人日本工学教育協会第25回(2020年度)工学教育賞を受賞することが決定しました。
本講座では、現在無職の女性や非正規雇用として働く女性、出産や育児等による退職からの再就職を目指す女性を対象にリカレント教育を行い、学習修了後は、県内企業への就職や起業・在宅ワークへの就業等、各人のライフステージに合わせてつも付加価値の高いデジタル業務への就労を支援しています。

2020年度学位記授与式を開催しました



2021年3月19日、会津大学講堂にて2020年度学位記授与式を、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、卒業生・修了生のみが参加する形で開催しました。
コンピュータ理工学部卒業生210名、大学院博士前期課程修了生48名、大学院博士後期課程修了生5名の計263名が、それぞれの進路で社会へ羽ばたきました。

「THE世界大学ランキング日本版2021」で会津大学が24位にランクインしました



2021年3月25日に発表されたイギリスの教育専門誌Times Higher Education (THE)による「THE世界大学ランキング日本版2021」において、会津大学は昨年と同じ24位にランクインしました。
このランキングは、大学を、教育リソース、教育充実度、教育成果、国際性の4分野における16の指標から評価するもので、会津大学は公立大学の中では2位となりました。

会津大学名誉教授称号授与式・永年勤続表彰式を行いました



2020年度で定年退職となる教員について、優れた研究/教育上の成果及び長年にわたる大学への貢献に基づき、2021年3月30日に名誉教授称号授与式及び永年勤続表彰式を執行了しました。

シュミット ローター 教授(名誉教授・永年勤続表彰)
クリューエフ ヴィタリー 教授(名誉教授)

バーラ サバシュ 教授(名誉教授・永年勤続表彰)
ルバシェフスキー イゴール 教授(名誉教授)

会津大学短期大学部生がデザインしたポスターを掲示しました



新年度のスタートに際し、新型コロナウイルス感染症に対する更なる注意喚起のため、学生ホールに新しいオリジナルポスターを掲示しました
2メートルを超える12枚のポスターは、会津大学短期大学部デザイン情報コース高橋延昌先生ゼミの学生4名が制作を手掛け、「マスク着用」「手指消毒」「距離を取る」など、コロナ感染症対策の基本がわかりやすく表現されています。赤べこを擬人化したメインキャラクターの「べこりん」を始め、4つのキャラクターが本ポスターのために新しくデザインされました。

会津大学の研究者の論文がアメリカ数学会(AMS)の学会誌に掲載決定

会津大学の木原浩上級准教授の120ページの長編論文が、アメリカ数学会が出版するMemoirs of the American Mathematical Societyに掲載決定しました。

学会誌の詳細

名称: Memoirs of the American Mathematical Society

掲載予定日: 未定(正式受理済)

掲載された論文の詳細

題名: Smooth Homotopy of Infinite-Dimensional C^∞ -Manifolds

著者: 木原 浩(数学物理学基礎講座群)

2020年度の各学年の成績優秀者を学長が表彰しました

2021年3月30日、2020年度の各学年の成績優秀者に対し学長から表彰状が贈られました。
成績優秀者には宮崎学長から、表彰状と副賞の図書カードを贈られました。
成績優秀者は以下のとおりです。なお、卒業生は学長賞、優秀賞として学位記授与式で表彰されました。

学部1年	伊集 光世	加藤 由芽	石井 大智
学部2年	星野 結水	村上 幸新	酒井 乃輝
学部3年	伊藤 亮哉	村上 弥夢	須藤 絢子



2021年度入学式を開催しました



2021年4月2日、会津大学講堂にて2021年度入学式を、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、入学生のみが参加する形で二度に分けて開催し、学部入学生250名、博士前期課程57名、博士後期課程9名、合計316名が入学しました。
式では、宮崎学長の入学許可の宣言、式辞のあと、入学生を代表して愛澤透哉さん(コンピュータ理工学部)、橋本志穂実さん(博士前期課程)が宣誓を行いました。

会津産学懇話会様から学生支援の寄附金をいただきました



2021年4月7日に開催された会津産学懇話会定例会で、大内重行会長から宮崎理事長兼学長に学生生活支援寄附金が贈呈されました。大内会長から学生への激励のお言葉をいただき、宮崎理事長兼学長が謝辞を述べました。
また、大内会長から会津大学外国人留学生後援会(SAISUA)副会長の佐藤大学担当次長に寄附金が贈呈されました。

大竹真紀子教授が、令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術振興部門)を受賞しました

2021年4月14日、本学の大竹真紀子教授が、令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰(科学技術振興部門)を受賞しました。

○業績

かぐや等の探査ビッグデータ解析による国際宇宙探査への貢献

○大竹教授の貢献内容

高精度地質マップの作成に大きな役割を果たし、資源探査において重要な地中物質の推定が可能となりました。

※大竹教授は、2020年2月まで宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所に所属しており、今回の表彰は当時の貢献内容となっております。

今回は宇宙航空研究開発機構(JAXA)国際宇宙探査センターの大嶽久志氏を代表者とした5名のグループの一員としての表彰となります。

株式会社石川製作所様と株式会社タマテック様より小惑星リュウグウの模型が贈呈されました



2021年4月16日、はやぶさ2プロジェクトに携わった(株)石川製作所 須藤 儀一様と(株)タマテック 吉田 武様が本学を訪問し、製作した小惑星リュウグウの金属模型を本学のARC-Spaceに寄贈されました。

模型は、本学の教員と学生が作成・測量した小惑星リュウグウの形状データに基づいて製作したもので、アルミニウムを精巧に削り出し、アルマイト処理を施し、実際のリュウグウの色に近い漆黒の外観で、重量約8kgの模型となっています。

中村上級准教授が福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザーの委嘱を受けました



2021年4月22日、本学の中村章人上級准教授(情報セキュリティ学講座)が、「福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー」を委嘱され、会津大学にて福島県警察本部 冨塚法雄 生活安全部長から委嘱状の交付を受けました。

任期は1年で、中村上級准教授は再任となります。

インターナショナル・トークが開催されました

グローバル・ラウンジ(GL)の活動として国際戦略室が実施する「インターナショナル・トーク」を毎月一回、開催しております。

留学生がZoomを通じて、それぞれの国や地域の歴史や文化、食べ物、名所などを英語で紹介します。

(参加できるのは、本学の学生、教職員のみです)



2021年1月6日、インターナショナルトークの特別版として、「ピアノコンサート&トーク」を開催し、日本人学生や留学生、教職員63名が参加しました。

エフゲニー・ピシキン教授(ソフトウェア工学研究室)が、ロマン派時代のロシアの作曲家チャイコフスキーについて話をしたあと、チャイコフスキーの「CHILDREN'S(?) ALBUM: TIME, METAPHORS, REDISCOVERIES」を演奏しました。その後、ワーグナー、リスト、スクリャービン、シューマンなどの作品を演奏しました。

ロマン派時代のロシア音楽を楽しむ機会は少なく、とても楽しいピアノコンサート&トークとなりました。



2021年2月3日(水)、リュ スアンソンさん(学部4年)が、自国ベトナムの文化や食べ物、お祭り等について、英語で紹介しました。



2021年4月28日、協定校のオストバイエル(OTH)・レーゲンスブル応用科学大学(ドイツ)の学生、ベンノ ビールマイヤーさんがドイツからZoomで、学生生活について英語で紹介しました。



本学学生が、会津大学の魅力やグローバル環境について、より多くの方に知っていただきたいと動画を作成しました



学部2年生の柏本仁香さん、学部4年生のグエン ヴァン ニーさんが、本学を卒業した先輩方にインタビューをして制作しました。

動画では、本学の先輩方が、大学生活において培った研究や教育、人生において影響があったことなど、実践的な会津大学の一面を知ることができます。



第3弾(先輩方編)

(2020年12月24日
YouTubeアップロード)

第4弾(先輩方編)

(2021年1月29日
YouTubeアップロード)

第5弾(先輩方編)

(2021年3月3日
YouTubeアップロード)

